

平成29年第4回定例会 代表質問

神谷副市長答弁

蛭田 浩文議員（未来民進ちば）

質問11 消防行政について

(1) 消防の職場におけるハラスメントの防止対策について
ア パワーハラスメント防止に向けた取り組みについて

(消防局総務部人事課)

(答弁)

次に、消防の職場におけるハラスメントの防止対策についてお答えします。

まず、パワーハラスメント防止に向けた取り組みについてですが、

消防は、災害現場で安全、確実、迅速な部隊行動を遂行するため、指揮命令系統を明確にする階級が存在し、厳格な規律の保持が求められております。このことから、一般に、階級の上下関係がある消防の職場では、指導が行き過ぎることにより、パワーハラスメントにつながりかねないおそれがあると懸念されております。

本市では、平成28年12月に全国の消防本部におけるパワーハラスメント事例をまとめた「職場のパワーハラスメント事例集」を作成し、全ての所属に配布して注意喚起を図ったほか、相談窓口を設けて職員からの相談を受けられる体制を確保しております。

また、本年7月にはパワーハラスメントを含めた各種ハラ

メント防止の徹底を図るため、管理監督者を対象にハラスメント防止に係る研修を実施した他、消防局長から全所属宛てにハラスメント防止宣言を通知し、ハラスメントに対する意識の向上及び風通しのよい働きやすい職場環境づくりに努めるよう周知したところであります。

今後は、自らの行動を振り返るためのセルフチェックの導入や実態調査のためのアンケートの実施などについて、更に検討を進めて参ります。

質問 1 1 消防行政について

(1) 消防の職場におけるハラスメントの防止対策について
イ セクシュアル・ハラスメント等の防止に向けた取り組みについて

(消防局総務部人事課)

(答弁)

次に、セクシュアル・ハラスメント等の防止に向けた取り組みについてですが、

本年1月の男女雇用機会均等法改正に伴い、従来のセクシュアル・ハラスメントの防止措置の他、新たに妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメントについても防止措置を講じることが義務付けられたところです。

消防局では、男性職員の割合が高い現状を踏まえ、セクシュアル・ハラスメント防止対策及び妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント防止対策を、特に意を用いて進めており、本年7月に実施したハラスメント防止に係る研修では、これらのハラスメント防止について、管理監督者に対して特に徹底を図っております。

さらに、子育て中の女性職員が安心して勤務することができる職場環境を確保するため、女性職員も相談員となっている「セクシュアル・ハラスメント及び妊娠・出産・育児又は介護に関するハラスメント苦情相談窓口」を設け、周知を図っております。

ハラスメントは、個人の人格を侵害し、職場環境を悪化させ、

業務の遂行に支障をきたす許されない行為であることから、今後も、継続してハラスメント防止対策を講じて参ります。

以上でございます。

教育長答弁

質問 1 1 教育行政について

(1) 加曽利貝塚について

ア 特別史跡の指定にともなう取組み状況について

(教育委員会生涯学習部文化財課)

(答弁)

次に、加曽利貝塚についてお答えします。

まず、特別史跡の指定にともなう取組み状況についてですが、特別史跡指定の話題性を効果的に活用し、知名度や集客力向上につなげていくことは市民の誇りや愛着の醸成を目指す上で大変重要であると考えております。

これまでJR車両のラッピングや千葉都市モノレールの記念フリー切符、記念フレーム切手、赤い羽根共同募金クオカード等の記念グッズを販売するなど、企業等からご協力もいただきながら多様な広告、PR活動を行っております。

また、縄文秋まつりや特別史跡指定記念シンポジウムでは、本市ならではの縄文体験や縄文グルメなどの提供も行いました。

今後も引き続き、加曽利貝塚の魅力と可能性を広く発信することで、縄文時代の景観と人々の暮らしを体感できる史跡を目指すとともに、多くの人が集い、地域交流の中核を担う拠点となるよう、効果的なPRや注目度の高いイベントを開催して参ります。

教育長答弁

質問 1 1 教育行政について

(1) 加曾利貝塚について

イ 発掘調査の現状と今後の調査研究の取組みについて

(教育委員会生涯学習部文化財課)

(答弁)

次に、発掘調査の現状と今後の調査研究の取組みについてですが、

現在、発掘調査は、南貝塚の北東、625平方メートルの範囲で行っております。ここは昭和39年の発掘調査の際に縄文時代晩期の住居跡が確認された場所であり、加曾利貝塚の集落がどのように終焉を迎えたのかを知る上で重要であると考えていることから、文化庁の許可を得た上で、今回、調査区域として設定したものです。

現在までに、縄文時代晩期の集落跡や精巧な彫刻が施された耳飾りなど珍しいものが発見されており、詳細は今後の整理作業の成果を待つこととなります。

なお、発掘調査期間中、その様子を、ホームページで発信するとともに、新たな発見についても随時発信して参ります。

また、今回、現地では説明会を実施したほか、掘り出した土のふるい掛け体験など、見学者が発掘に親しめる機会も設けたところです。

今後、このような学術的な発掘調査を継続し、そこから

得られる新たな発見や研究成果等を効果的に発信していくことで、縄文文化と貝塚の性格を究明し、調査研究の成果を世界に発信していく拠点となるよう取り組んで参ります。